

令和6年度 第52回



教育実践研究論文募集

主 催 公益財団法人
日本教育公務員弘済会宮崎支部

後 援 文 部 科 学 省
宮 崎 県 教 育 委 員 会
宮崎県市町村教育委員会連合会
宮 崎 県 校 長 会
宮 崎 県 県 立 学 校 長 協 会
宮崎県公立小・中学校教頭会
宮崎県立学校副校長・教頭会

趣 旨

宮崎県内の教育関係者が使命感と情熱をもって教育実践に精励されることを念願し、教育実践研究論文を募集します。

研究課題：「生きる力」を育む教育活動 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現～

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難な時代となる中、子供が自らの将来を見通し、社会の変化を踏まえながら、生涯にわたって学び続けることが必要とされています。学習指導要領でも、全ての子供に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を育成することが強く求められています。

そのためには、新たな学校における基盤的なツールとなっているICTも最大限に活用しながら、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の充実を図ることが必要です。その際には、教科等の学習と教科等横断的な学習を通じて、資質・能力が育成されるようカリキュラム・マネジメントの取組を推進することも大切です。

このことを踏まえたうえで、各学校では、子供たちの実態や学校・地域の特性を的確に把握し、課題を明確にしなが、諸教育活動を展開・充実しなければなりません。学校の全教育活動をおして課題解決を図り、子供たちに「生きる力」を育むことが大切です。

そこで、下記分類により「生きる力」を育む具体的で充実した教育活動の展開を期し、標記を研究課題とした教育実践研究論文を募集します。学ぶ子供たちの視点に立ち、日々の具体的な実践に裏打ちされた教育実践研究論文の応募に期待しています。

募集内容 【学校研究部門】

各学校における主題研究を中心とする教育実践及び特色ある教育活動の実践（提出は校長名で）

【個人研究部門】

第1類

教科指導に関する教育実践

第2類

生徒指導、特別支援教育、道徳教育（「特別の教科 道徳」も含む）、特別活動、総合的な学習の時間、キャリア教育、情報教育などを中心とする教育実践

第3類

学校経営、事務室経営、学年・学級経営、保健室経営、食に関する指導や保健指導等を中心とする教育実践

※ 第3類は、「管理職(校長・副校長・教頭)の部」「教諭等(主幹教諭・指導教諭・教諭)の部」「養護教諭の部」「栄養教諭の部」「事務職員等の部」の5部門に分けて、職種毎に審査します。

※ 教育実践研究論文は、「生きる力」を育む教育の実践という立場から、応募者が上記3類の中から具体的な内容と研究主題を決めてまとめることとします。なお、応募は、いずれかの類で一人1編とします。

募集対象

県内国・公・私立の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校及び特別支援学校に勤務する教職員の学校研究及び個人研究とします。

応募要件

「第51回研究論文集」に掲載している「課題研究の進め方」に則って研究・実践し、その成果をまとめてください。公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に発表したものと及び他団体に応募済みのものや他の募集と重複しての応募はできません。

論文の量

論文の作成は、ソフトウェア「Microsoft Word」を使用してください。
 写真・図表等すべてを含めて、モノクロとし、要旨1ページと本文4ページとします。
要旨は、48字×43行1段組1頁、本文は、24字×43行×2段組4頁、共にA4判10.5ポイントとします。
 ※ 論文募集の要項及び雛形は、本支部HP（URL：<http://www.mkkyoko.co.jp/>）にあります。
 （「宮崎教弘」での検索も可能です）

原稿とその扱い

- 原稿は応募者自身の実践研究によるもので、他に応募や発表をしていないものに限りです。
- 原稿には類の別、主題、勤務校、職名、氏名（フリガナを付けてください）等を明記してください。
- 原稿は持参または郵送とし、教育実践研究論文のデータを入力したCDも提出してください。（PDFは不可）
- 原稿の著作権は本支部に帰属し、提出された原稿は原則として返却しません。
- 論文に使用する写真や個人が特定できる記述等については、本人及び保護者の承諾が必要となりますのでご配慮ください。
- 入賞論文は、教育実践研究論文集に全文を掲載し、県内の学校及び教育関係機関に配付します。
- ※ 論文審査等については一切の権限は「本支部」にあるものとします。

審査基準

- 論文審査委員会を開催し、各類別に審査します。
- 選考の観点1（内容）
 - ① 研究主題に即し、論旨が明確で、首尾一貫しているか。
 - ② 創造的で、具体性があるか。
 - ③ 実践に裏付けされているか。
 - ④ 資料は、正確で精選されているか。
 - ⑤ 研究内容は、評価が高く、多くの学校でも活用できるか。
 - 選考の観点2（表現）
 - ① 論文として整っているか。
 - ② わかりやすい文章表現であるか。
 - ③ 表記は適切であるか。

表彰

- 表彰式は、令和7年2月15日（土）の予定です。
- 各部門・各類とも第1席・2席・3席までの入賞校・入賞者を表彰します。
- 入賞校には表彰状と研究助成金（第1席10万円・第2席8万円・第3席6万円）を贈呈します。
- 入賞者には表彰状と研究助成金（第1席5万円・第2席4万円・第3席3万円）を贈呈します。
- 審査委員会からの推薦があれば、特別賞として次の賞も贈呈します。
 - （例）①奨励賞（図書カード1万円分）：入賞に準ずる優れた教育実践研究論文を推薦対象とします。
 - ②学校賞（図書カード2万円分）：応募者が複数の学校を推薦対象とします。
- 入賞者・奨励賞以外の方には、研究助成（図書カード5千円分）を贈呈します。
- ※ 日教弘教育賞論文、東京海上日動教育振興基金研究助成への応募については、日教弘宮崎支部教育実践研究論文の応募論文の中から推薦します。

提出先

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 宮崎支部
 〒880-0841 宮崎市吉村町曾師前甲3158-1 電話 0985-78-0055

結 切

令和6年12月27日（金）午後5時 ※ 必着

個人情報

の取扱いについて
 教育実践研究論文にご記載いただいた個人情報は、選考及び選考結果の通知のため使用いたします。
 なお、入賞者の論文につきましては、氏名、所属、職名等を公表いたしますのでご了承ください。